

感染症予防に配慮した嘔吐物処理



感染性胃腸炎を起こすノロウイルスや病原性大腸菌などは**少量でも感染し、嘔吐や下痢**を発症することがあります。
周囲の人が感染しないよう嘔吐物があった場所は**消毒**しましょう。

嘔吐物処理セット



いざという時にあわてないように、必要物品はまとめておきます。保管場所は職員間で情報共有しましょう。



- 濃度が下がるのを防ぐため、**次亜塩素酸ナトリウム**は冷暗所で保存します。
- 作業中に破損した場合に備え、個人防護具は多めに準備します。
- 半年に1回は中身を確認し、**消毒薬の使用期限が切れていないか、個人防護具が劣化していないか**を確認します。

0.1%次亜塩素酸ナトリウムの薄め方

商品によって次亜塩素酸ナトリウムの濃度が異なります。原液の濃度に合わせて希釈します。

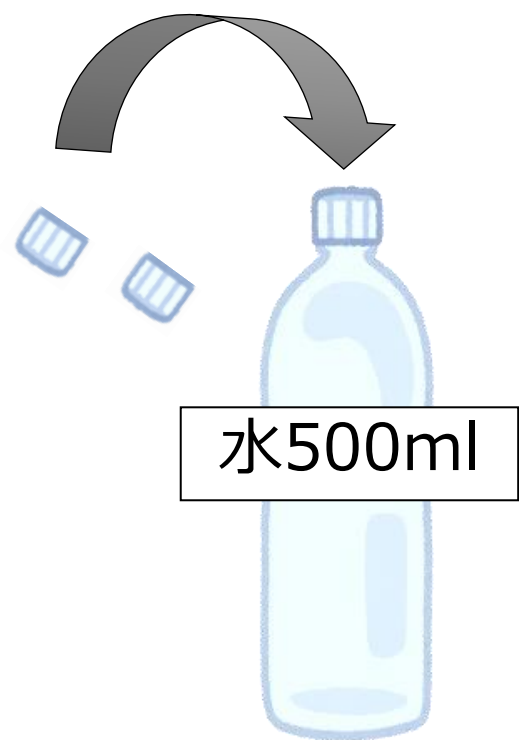
原液の濃度		原液
1%	→	300mL
6%	→	50mL
12%	→	25mL

全量が3Lになるまで水を加える

嘔吐物は遠くまで飛び散っている



嘔吐物は遠くまで飛び散っている可能性があります。嘔吐物の中心から半径2m程度は汚染区域とみなし、消毒しましょう。



【ペットボトルを利用した作り方】
500mlペットボトルのキャップ2杯分の**6%原液**を加え、水で一杯にすると約0.1%の消毒薬が完成します

誰かが吐いてしまったら

- ・ 周囲の人を離れた場所へ移動させる
- ・ 嘔吐物の飛散を防ぐため古新聞などで覆う
- ・ 窓を開けて換気し、空気中に漂っている病原体を減らす
- ・ 嘔吐物を片付ける人は、マスク、手袋、エプロン、シューズカバーをつける



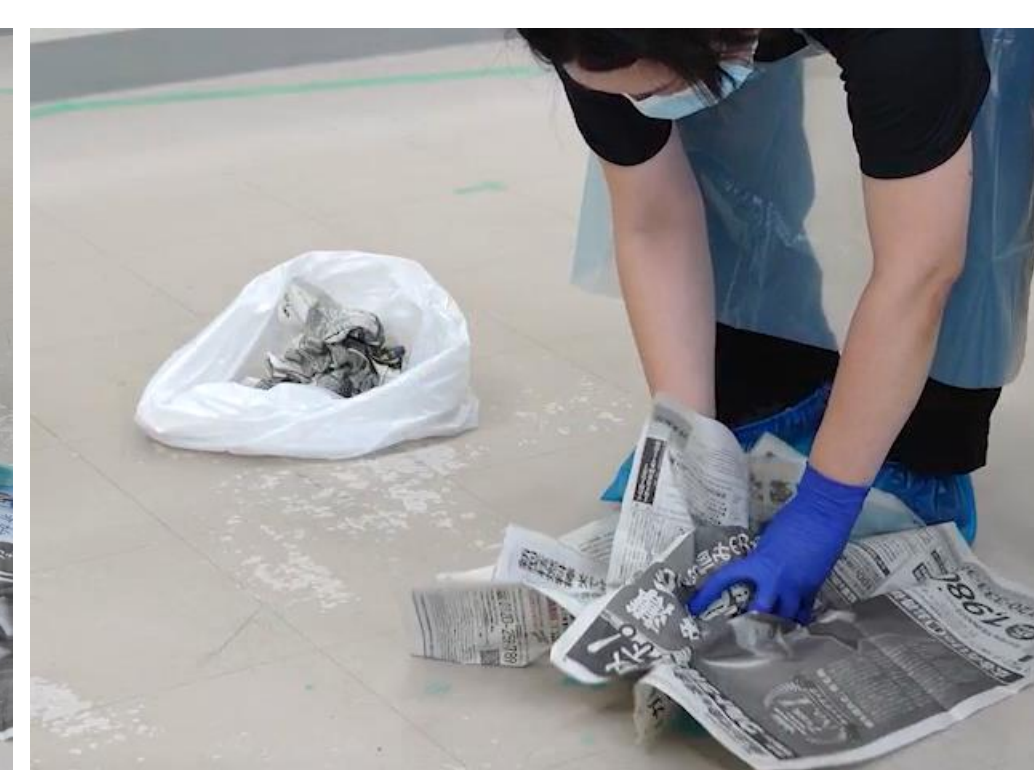
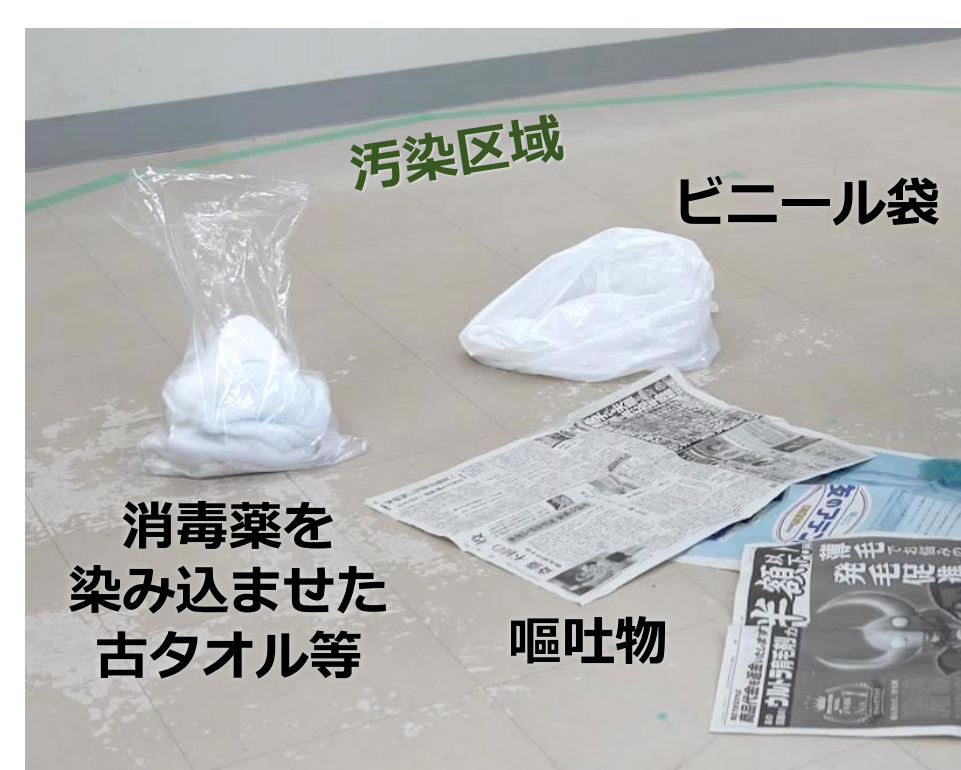
嘔吐物の片付け方

- ①0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液（塩素系漂白剤を薄めたもの）を作り、古タオル等を浸す。



チャック付き袋に古タオルを入れ、その中に消毒薬を注ぐとよい

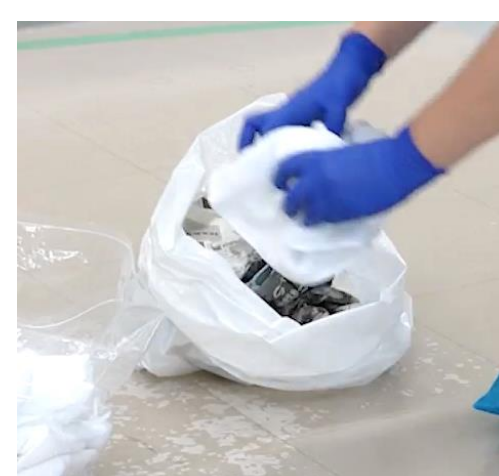
- ②作業しやすい位置に古タオル等、ビニール袋を配置する。かぶせてあった古新聞を使って、おおまかに嘔吐物を取り除く。



- ③消毒薬をしみこませたタオル等で嘔吐物をふき取り、捨てる。



外から内へ拭く



- ④嘔吐物入りのビニール袋の口を閉め、ゴミ箱に捨てる。手袋を交換する。



空気を勢いよく抜かない



- ⑤汚染箇所を消毒薬に浸した古タオル等で覆い、10分～30分消毒する。

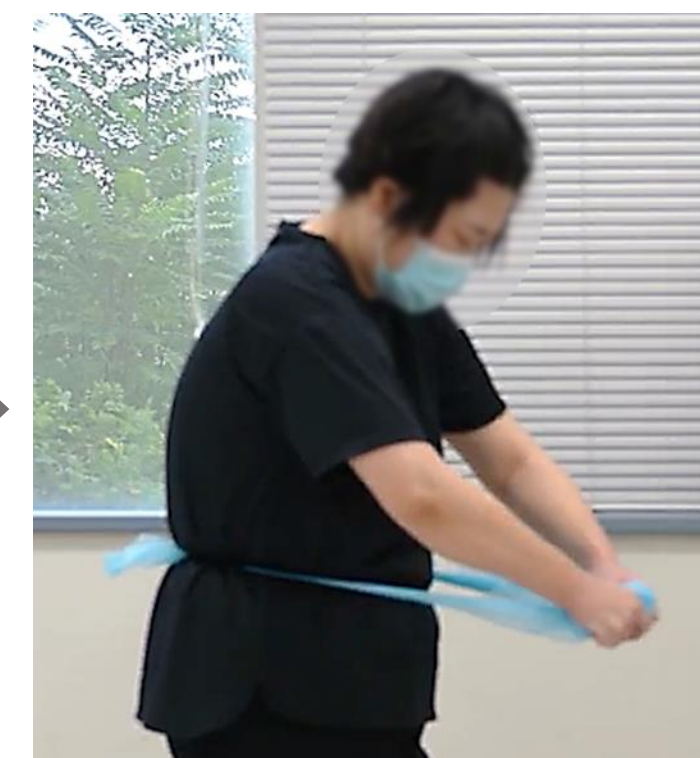
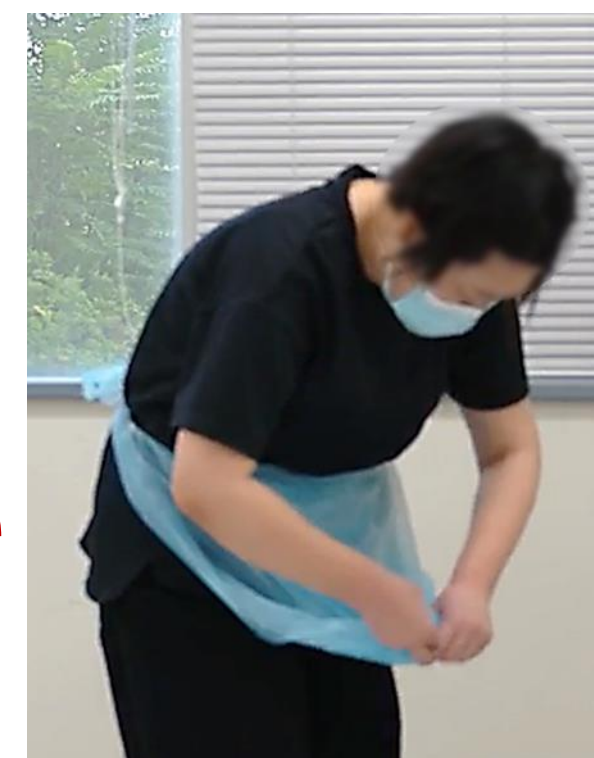


消毒薬の効果を持続させるため白色の布製品を使用する

- ⑥シューズカバー、手袋、エプロン、マスクを外して捨てる。



表面を触らない

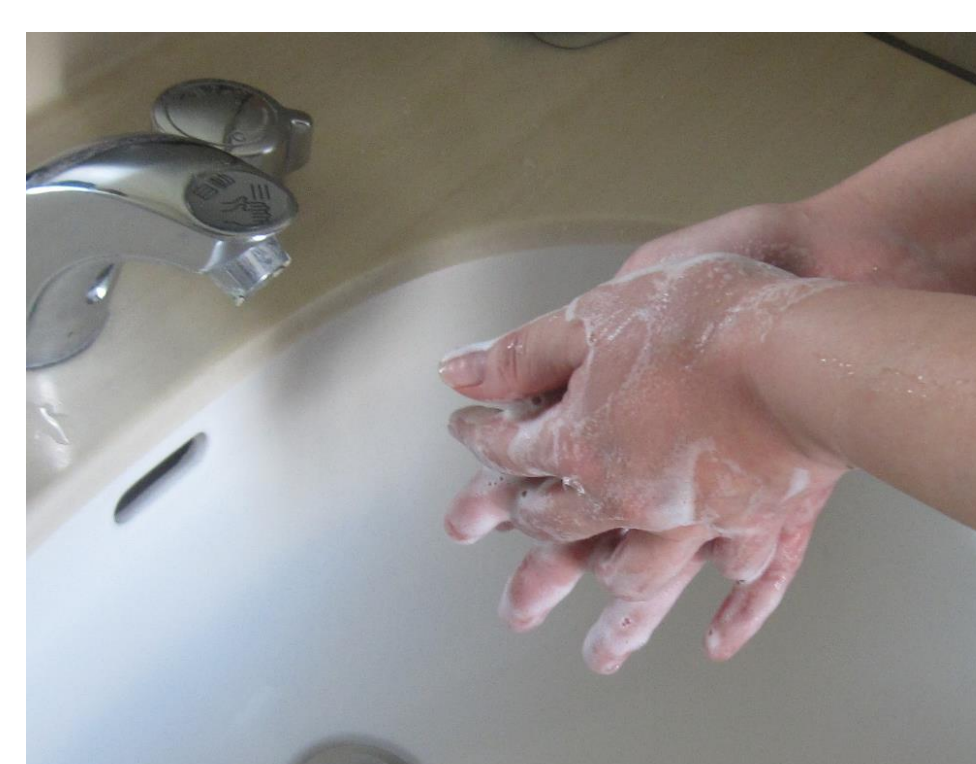


- ⑦ゴミ箱のビニール袋の口を閉める。



空気を勢いよく抜かない

- ⑧石けんで丁寧に手を洗う。



詳しくは群馬県公式ホームページへ

